

令和8年度 図書館活動評価 重点事項評価(案)

資料 5

項目	重点事項	重点事業	事業説明
1	当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。	① 貴重資料の活用	・貴重資料を定期的にエントランス等で展示する。 ・既存のデジタルアーカイブ等を活用し、HPなどでわかりやすく紹介する。 ・貴重資料に親しむ講座を開催する。
		② 郷土資料の充実	各種媒体から出版情報を収集し、重要性や希少性を考慮しながら、質を重視した郷土資料の確保を図る。
		③ 古文書等の歴史文書の収集・保存・活用	古文書等の歴史文書の目録を作成し、公開して市民の利用に供する。企画展などで情報発信を行う。
		④ 歴史公文書の収集・保存・活用	市役所の廃棄文書を歴史公文書として、収集・整理・保存する。
		⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用	資料整理ボランティア等と連携して目録を作成し、長岡市の災害対応の経験・教訓を伝える記録資料として広く公開・活用する。
2	課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。	① 図書館蔵書の充実	・読書バリアフリーをはじめ、市民の多様なニーズに対応する図書、雑誌などを充実させる。 ・配架方法を工夫し、様々な資料を紹介することで蔵書の有効活用を図る。
		② レファレンスサービス(調べもの支援)の充実	・図書館資料および外部データベースを整備し、市民が必要とする情報・資料を見つけられるよう支援する。
		③ 図書館の環境整備	・北地域図書館の高圧受電設備更新工事を行う。 ・南地域図書館の自動ドアの修繕を行う。
3	積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。	① 広報について	HPやFBで、図書館サービスについてお知らせする。イベントについては、長岡市の公式LINEやイベントカレンダーでお知らせする。
		② 各種機関と連携した事業の実施	がん情報など関係機関と連携した連携展示コーナーの企画を実施する。
		③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	・特色資料に関連した、または地域の団体・学校などと連携した事業を継続し実施する。 ・調べる学習コンクールなど図書館資料を活用した事業を展開する。
4	長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。	① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施	「第3次長岡市子ども読書活動推進計画」(令和5～9年度末)に基づき、子どもの読書環境を整え、各種事業を展開する。
		② 子ども向け図書館サービスの実施	大型連休や夏休み等の期間に、子どもたちが楽しめる図書館や本に親しむことができるイベントを実施する。
		③ 学校等への図書館サービスの実施	米百俵号による遠隔地域への巡回や団体貸出、学校配本、授業用セット貸出等を実施する。
5	互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。	① 資料面、運営面の協力	テーマ展示等の資料提供、図書館情報ネットワークや本の物流を含めたスムーズな運営のための協力を行う。
6	市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。	① 利用者アンケートの実施	例年どおり実施し、昨年度との比較や利用者の意見を把握し、図書館運営に活かす。
		② 友の会事業	図書館支援団体として図書館と連携し、活動を図書館の運営に活かす。
7	勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	① 外部研修・遠隔研修	・県立図書館等が主催する研修に職員が参加し、研修で得たことを職員間で共有し、図書館職員のスキルアップを図る。 ・地域館でも県立図書館主催の研修に参加するほか、TRCが企画するステップアップ研修などにスタッフを参加させ、知識やスキルの向上を図る。
		② 職場内研修	・各種WEB研修を活用し、職員の専門性向上を図る。 ・地域館では例年どおり、全スタッフが参加する全体研修を実施するほか、中央館との合同研修や職員研修への参加も継続して行う。